

News Release

2018年3月23日

西本Wismettacホールディングス株式会社
(東証一部 証券コード9260)

Wismettacフーズ、国産「小玉りんご」(ブランド名 SUGOI) 新規輸出事業 当初目標 売上1億円達成

当社子会社である、Wismettacフーズ株式会社(本社：東京都日本橋、代表取締役社長 辻川弘、以下「フーズ社」)の新規事業である国産「小玉りんご」(ブランド名 SUGOI)の輸出販売が当初目標のシーズン(2017年11月-2018年3月)において、売上1億円を達成しましたのでお知らせ致します。

1. これまでの経緯

日本国産のフルーツは東南アジアを中心に高品質・美味しい高級品として、現地高所得者層を中心に人気を博しております。その中で「りんご」は、特に台湾、香港の現地高所得層に人気となっております。しかしながら、「りんご」の日本から海外への輸出量は2016年9月～2017年8月の間は前年同期比76%まで減少していました(青森県りんご輸出協会調べ)。

そのためフーズ社は全国農業協同組合連合会青森県本部(以下、JA全農あおもり)、津軽みらい農業協同組合(以下、JA津軽みらい)と協働し、新たなマーケットの開拓に着手しました。Easy to Buy(手ごろに購入できるリンゴ)をコンセプトに東南アジアの中所得者層を中心としたマス層をターゲットとして、手ごろな価格と高品質を両立させた「小玉りんご」の供給を受け、それを証するブランドとして「SUGOI」を付して海外販売のトライアルを行ってまいりました。

SUGOIは日本語の「素晴らしい」「驚くほどの」「とても優れた」といった意味の通り、【とても美味しいリンゴ】のブランドとして特にタイ国においては大きな評価を得ました。「小玉りんご」の収穫・販売シーズンは、11月～4月頃となっておりますが、2017年12月からタイ国向け輸出販売を開始し、この度売上数量は85,000kgに到達しました。これは同国における日本産りんごの40%程度のシェアを占めるもの(通関統計より当社推測)となっております。

その他、台湾、香港以外にもシンガポール、マレーシア、カンボジアへの輸出も開始しました。結果として、当初計画通り、今シーズンの売上高で1億円を達成いたしました。

このトライアル販売の結果をふまえて、フーズ社においてはJA全農あおもり、JA津軽みらいとの協働体制を一層強化し、来年度以降の販売拡大に努めてまいります。

2. 今後の見通し

来年度以降は、更なる拡販に努め、数年内に10億円程度の事業規模とすることを計画しております。

尚、この取組みによる当2018年12月期連結業績に与える影響は軽微なもの見込んでおります。

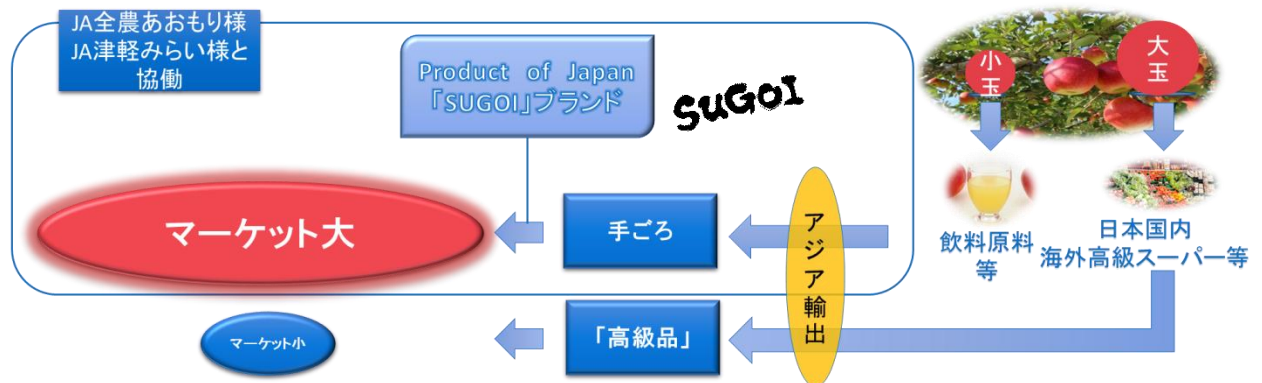
3. フーズ社の概要

- (1) 会社名：Wismettacフーズ株式会社
- (2) 本社：東京都中央区日本橋三丁目10番5号
- (3) 代表者：代表取締役社長 辻川 弘
- (4) 資本金：30,000,000円
- (5) 主要株主：西本Wismettacホールディングス株式会社 100%
- (6) 事業内容：農・水産品の国内・海外販売（農水産商社事業）

以上

<ご参考>

小玉りんご輸出プロジェクト概略図



【本件に関する問い合わせ先】

西本Wismettacホールディングス株式会社
経営企画部 電話：03-6870-2015